

eco なび

足立区環境情報プラザ

9

No.6 | 2024



ツノサイチョウ



テングザル（絶滅危惧種）



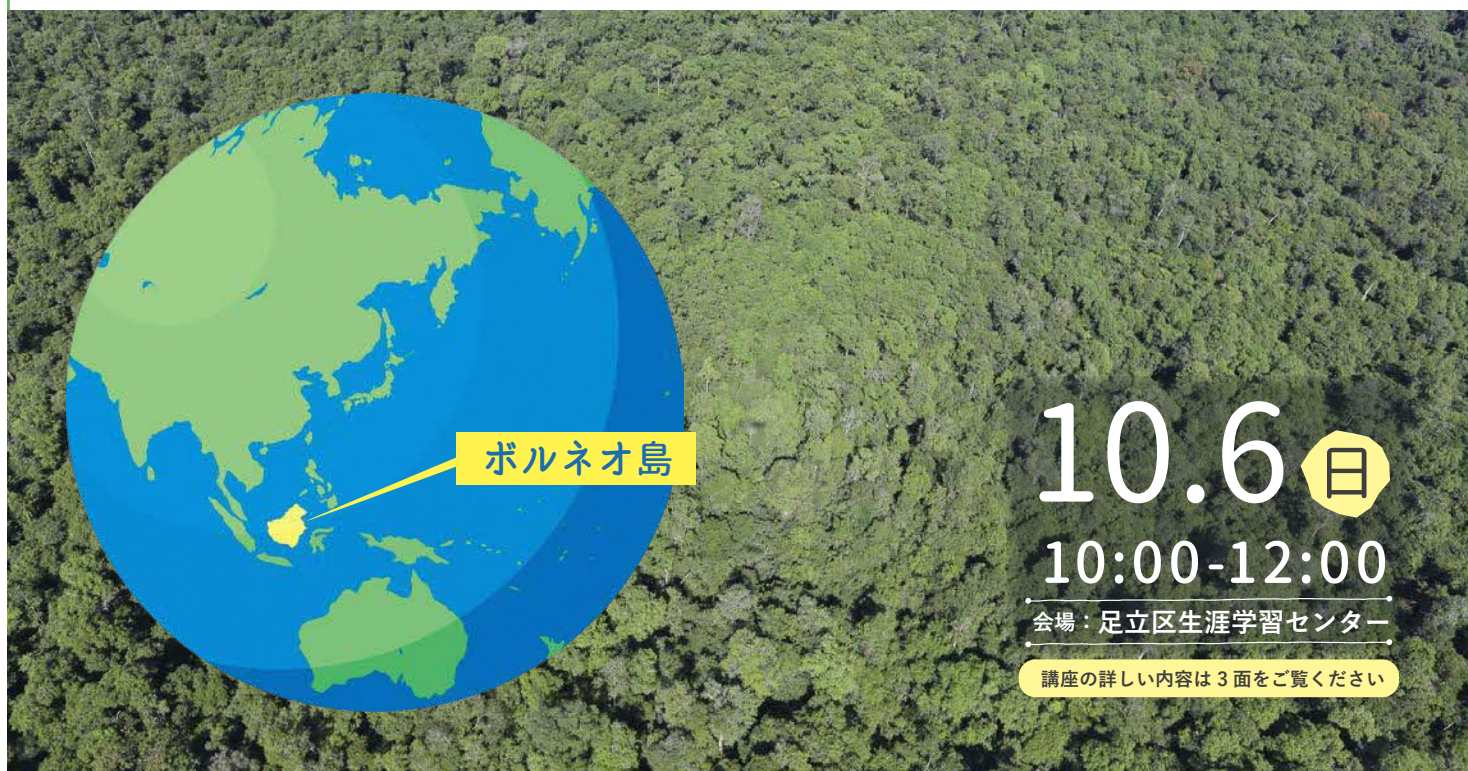
ボルネオを象徴する野生動物たち

ボルネオゾウ（絶滅危惧種）

講座

身近に潜む環境問題 生物多様性にSOS！

東南アジアに位置し、世界でも稀に見る生物多様性の宝庫、ボルネオ島。そこで環境保全に取り組む講師から、生態系のバランスと家庭の食事との関係など、身近に潜む環境問題を学びます。



ボルネオ島

10.6



10:00-12:00

会場：足立区生涯学習センター

講座の詳しい内容は3面をご覧ください

学びピアの縁側

色紙ぺたぺた！
押し花で作るカラフルしおり

当日受付 9/21 土 13:30 ~ 14:30



「学びピアの縁側」は「学びピア21」の各施設がプログラムを持ちよって開催するイベントです。今回は色とりどりの紙と押し花で、読書の秋にぴったりなしおりを作りましょう。紙のアップサイクル※についても学びます。

※廃棄物や不用品を新しい製品にアップグレードすること

対象 小学生とその保護者 定員 8組

参加費 無料 持ち物 筆記用具 講師 環境情報プラザ職員

会場 生涯学習センター 講堂

自然とふれあう

川あるきの日

当日受付 10/5 土 10:00 ~ 11:30



※小雨決行、荒天および熱中症警戒アラート発出時は中止

荒川河川敷をのんびり歩きながら自然観察をします。

対象 どなたでも 定員 20名 参加費 無料

持ち物 動きやすい服装（長袖長ズボン着用。サンダル不可）、飲み物、帽子、タオル、雨具（雨天時）

講師 環境情報プラザ職員 会場 荒川河川敷〜わんど広場

参加方法 当日、集合場所（足立区環境情報プラザ）で参加証配布



環境・これも考えよう！



「賞味期限」と「消費期限」のちがい

「あ、賞味期限が切れてる！」

冷蔵庫の中の食品や災害用の備蓄品など、気付いた時には期限が切れていて、「あちゃー」と額に手を当てた経験はありませんか。仕方なく捨ててしまったという方もいるかもしれません。しかし、一口に期限が切れたといっても、「賞味期限」と「消費期限」は、似ているようで異なった意味を持ちます。

「賞味期限」はお菓子や缶詰、カップ麺などに表示され、品質が変わらずに美味しく食べることができる期限です。賞味期限が切れたからといって、すぐに食べられなくなるわけではありません。ただし、一度開封したものは賞味期限に関わらず、早めに食べきるようにしましょう。

一方、「消費期限」は、主にお弁当やサンドイッチなどに表示されており、安全に食べられる期限をあらわしています。買い物をする時には、消費期限内で食べきれぬ量を買うこと。事前に冷蔵庫の中身をチェックすることや、特売になっている商品があってもついつい買い過ぎないようにすることも大切です。

賞味期限と消費期限の違いを考えて、一人一人の行動でフードロスを減らしましょう。



出典：① 消費者庁 食品の期限表示に関する情報

② 農林水産省 「消費期限」と「賞味期限」の違いは？



環境講座プログラム

申込開始日
9/11(水)



身近に潜む環境問題 生物多様性にSOS!

10/6(日) 10:00~12:00

ボルネオ島で環境保全に取り組む講師から、地球の生態系バランスの崩れが家庭の食事にも影響するといった、知ってるようで知らない生物多様性を学びます。

対象 区内在住・在勤・在学の方 **定員** 20名 **参加費** 無料

持ち物 筆記用具

講師 認定NPO法人ボルネオ保全トラスト・ジャパン 青木崇史

会場 生涯学習センター 研修室4
(足立区千住5-13-5 「学びピア21」内)

アクセス 常磐線・東武線・つくばエクスプレス線・東京メトロ
「北千住駅」より徒歩15分
都バス・東武バス「千住四丁目」下車5分
コミュニティバスはるかぜ「学びピア前」下車1分

舎人図書館共催



古布で作るブックカバー

10/14(月・祝) 14:00~16:00

余った布や着られない服をほどいた布で、自分だけのブックカバーを作ります。針と糸を使わずに作りますので、裁縫が苦手な人でも大丈夫です。

対象 小学生とその保護者 **定員** 10組 **参加費** 200円

持ち物 筆記用具、

余り布(薄手のもの・400mm×250mm程度)1枚

講師 環境情報プラザ職員

会場 舎人地域学習センター 第1学習室

アクセス 日暮里・舎人ライナー「舎人駅」より徒歩5分
東武バス「西門寺橋」下車3分
都バス「入谷一丁目」下車5分
都バス「放射11号舎人」下車5分

申込先 舎人地域学習センター (足立区舎人1-3-26)

TEL: 03-3857-0008 8/26(月) 募集開始

窓口・電話・インターネットで受付

※インターネットのみ初日は13:00~の受付となります。

講座のお申し込み方法

申込先 足立区環境情報プラザ 〒120-0034 足立区千住5-13-5 (「学びピア21」4階)
[TEL] 03-5284-7358 [FAX] 03-5284-7359

申込方法 窓口・電話・ファックス(重複無効) **必要事項** 住所・氏名・電話番号・希望講座名

申込開始 令和6年9月11日(水) 9:00~ 定員に達した場合は、キャンセル待ちとなります。

※講座の詳細は、足立区環境情報プラザまでお問い合わせください。



あだち区民まつり

A-Festa 2024

会場

荒川河川敷(虹の広場)

子どもから大人まで誰でも楽しめる、魅力たっぷりのイベントです。

荒川のヨシと余り糸で作る くもの巣編みストラップ

当日受付 10/12 土

①11:00~ ②12:00~ ③14:00~
④15:00~ 各45分

河川敷で採取したヨシの茎に、好きな色の糸を巻きつけ、ストラップを作りましょう。



おがくず粘土で 小物入れを作ろう

当日受付 10/13 日

①10:00~ ②11:00~ ③13:00~
④14:00~ ⑤15:00~ 各45分

えんぴつを作るときに出るおがくずを再利用した粘土を使って、自分だけの小物入れを作りましょう。



環境情報
プラザも
参加します!



環境図書コーナー

SDGs時代の食べ方

ー世界が飢えるのはなぜ？

(筑摩書房)

著 出井留美



現在の世界人口は約82億人。食料生産量は全人口を賄えるにもかかわらず、約7億5,000万人が飢餓状態にあります。一方、食品ロスの総量は世界で年間約13億トン。日本は年間472万トンで、1人当たり38キログラムを捨てています。

本書では、食品ロス問題ジャーナリストの著者が、捨てない食べ方への取り組みをQ&Aで提案します。この1冊を手にとって、自分の食べ方を振り返ってみましょう。

地域の産物を食べよう！

小松菜や枝豆は足立区の特産物。地域の特産物をみんなで食べれば、地域農業の支援や、環境の保全にも役立つんだ。キャベツやブロッコリー、大根なども足立区で作られているよ。選んで食べて、足立区の農業を応援しよう！

足立区温暖化対策キャラクター
「リリー」



足立区では、ペットボトルキャップの回収、
使用済みインクカートリッジの回収、
フードドライブを実施しています。

ご協力をよろしく
お願いします。



「ミリー」



ペットボトルキャップ



インクカートリッジ



フードドライブ

設置施設、および受付時間などの詳細は
区のHPで(二次元コードより)ご確認ください。

足立区環境情報プラザ「ecoなび」 2024年9月号

発行 足立区環境情報プラザ

住所：〒120-0034 足立区千住 5-13-5(「学びピア21」4階)

アクセス：常磐線・東武スカイツリーライン・つくばEX・
日比谷線・千代田線「北千住」下車徒歩15分
都バス・東武バス「千住四丁目」下車徒歩5分

電話：03-5284-7358

FAX：03-5284-7359

営業時間：午前9時～午後5時

休館日：9月9日(月)



◀足立区HP

